



世界に希望を生み出そう
RI 会長テーマ

2023～2024 年度
大船渡西ロータリークラブ会報
七福人



会 長 紀室 綾子
副会長 松田 福美
幹 事 三田地大悟

= 会長指針 =
希望を胸に心ひとつに

．．． 例 会 記 録 ．．．

3月第1回例会 2024年3月14日(木)

ソング : 君が代・4つのテスト ボックス : 22,000円 (報告者門田 崇会員)
本日出席率 : 61.29% 前回修正後100% (メークアップ10名) (報告者菅野嘉洋会員)

★ 会長の時間 : 紀室綾子会長



今日の会長の時間はアンコンシャス・バイアスについてお話いたします。DEIに引き続きまた聞きなれない横文字が出てまいりました。

さて、このアンコンシャス・バイアスとは一体何でしょうか？それは、無意識（アンコンシャス）の中に潜む思い込みや偏見（バイアス）のことです。DEIの取り組みが進展しないのはこのアンコンシャス・バイアスが要因しているといわれています。

このアンコンシャス・バイアスは差別や偏見を持っている当人には自覚がないため、差別や偏見が存在していることに気づきにくいという特徴があります。過去の経験や、見聞きしたことが知らず知らずのうち無意識に脳にきざみこまれ、既成概念や固定概念となってしまいます。これは誰にでもあるもので、悪意があるわけではありませんが、気をつけないと無意識のまま相手に「決めつけ」や「押しつけ」をしてしまうことがあります。

例えば、仕事や社会でこんな感じのアンコンシャス・バイアスが発生することがあります。

- ・ 「普通そうだ」「それって常識だ」という価値観の決めつけ
- ・ 能力に対する「どうせダメ」「そんなことできるわけがない」などの思い込み
- ・ 上司より先に帰ることは「失礼だ」と感じるクセ

また身近な例として、

- ・ 消防士と聞くと運動神経がよさそうな男性を想像する
- ・ お茶出し、受付対応、事務職、保育士というと、女性を思い浮かべる
- ・ 赤いランドセルは女の子が持つものだ
- ・ 親の面倒は長男（もしくは嫁）が見るべきだ
- ・ 単身赴任を考えると、つい父親を想像する

この親が単身赴任中という父親を想像する（母親を想像しない）については単身赴任者に男性が多いという事実が影響しているかもしれませんが、「なんで母親なのに、単身赴任なの？子供がかわいそう」となってしまい、この一言に誰かが傷ついている可能性があります

無意識のバイアスに気づくために、お手元の「無意識の思い込みチェックリスト30」を使って、ご家族と一緒にチェックしてみてください。

「偏見は自分にはない。」「自分はそのような人間ではない。」「それぐらいのことで目くじらを立てるな。」「チェックリストでチェックしたら大丈夫だった。」ではなく日常においても、「もしかしたら私にも無意識の思い込みや偏見があるかもしれない」ということを意識することが大切なようです。

ただ、無意識の偏見を完全になくすことは難しいかもしれません。だからこそ、その存在にどれだけ気づき続けられるかが大切なのだと思います。私も自分の中に潜んでいる無意識の偏見に気づき、改善する努力をして

いきたいと思います。そして DEI を学びながら相手の良さや個性を尊重できるロータリアンに皆さんと一緒に
なりたと思っています。

4月13日の3クラブ合同 DEI 研修会楽しみにしております。

無意識の思い込みチェックリスト30

「とてもそう思う」～「全くそう思わない」まで、ご自身が当てはまる所に○をつけてください。

No.	質問	とてもそう思う	そう思う	どちらとも思わない	あまりそう思わない	全くそう思わない
1	年配者はパソコン操作やSNSの使い方に不慣れた					
2	最近の若者は根性がない人が多く、仕事に対する心構えが甘い					
3	女性は気配りができるから、秘書やアシスタント業務に向いている					
4	政治家はお金に汚い					
5	会議で意見を主張する女性は気が強い					
6	血液型A型の人には真面目で誠実だ					
7	ラテン人は時間にルーズだ					
8	母親は仕事より子供を優先するものだ					
9	父親は一家を支える収入を得るべきだ					
10	長男は親の面倒をみる役割がある					
11	太っている人は自己管理ができていない					
12	離婚した人は人格に問題がある					
13	理系出身の人は論理的に物を考えている					
14	子供がいるから休みが多くても仕方ない					
15	良い大学を卒業した人は仕事もできる					
16	今までのやり方で上手くいっていればそれを踏襲するのが一番良い					
17	仕事のためにはプライベートを犠牲にしなければいけない					
18	一人前になるためには苦労しなければいけない					
19	一度立てた目標は変更してはいけない					
20	年長者の言うことには従うべきだ					
21	家庭のことをしっかりやらなければ女性は外で働くべきではない					
22	関西人だからお笑いが好き					
23	女性社員は管理職になりたがらない					
24	定時で帰ろうとする同僚にイラっとすることがある					
25	九州出身の男性は亭主閑白だ					
26	育児中の社員は子供の用事ですぐに休む					
27	独身者は自由でうらやましい					
28	重要な仕事はやはり男性に頼む方が良い					
29	フレッシュなアイデアを集めるには若者に聞くのが良い					
30	相手が思っていることを察して、先回りして行動するのが良い					

(解説)

「無意識の思い込み」に良い悪いはありませんので、上記チェックリストのどこに○がついても問題ありません。ですが、上記のどの設問も正解不正解がなく、それぞれ個人の価値観によって感じ方が異なるものだったり、全体の一部の人にはみ当てはまる傾向だったりするものです。「自分の認識・考えが正しい」と無意識に思っていることで、知らず知らず、自分と異なる価値観をもとに行動をしている人に対してネガティブな態度が出てしまうことがあります。(無言にシワを寄せる、目を合わせない、意見を聞き上げない、など) また、職場によっては、そういった個人的な価値観が評価システムや環境に影響を与え、特定のグループの方にとって居心地の悪い思いをさせてしまうことがしばしばあります。そういった「アンコンシャスバイアス」による悪影響を避けるためにも、普段から特定のグループへの印象で相手を判断せず、「本当にそうかな?」と自分の判断を保留し、「〇〇さん」個人一人一人を理解しようとする姿勢が最も大切です。

アンコンシャスバイアスに関する知識を深めることは、他者に対する偏見からくる問題行動を減らすため、チームビルディングの観点からも非常に重要です。また、自分自身に対する思い込みを解放し、本来持っている一人一人の能力を発揮しやすくなる効果も期待できます。

自分の「思い込み」に気づき、「より良い職場にするには」「より能力を発揮するには」、という観点から、是非チームで「アンコンシャスバイアス」について意見交換の場を持つことをおすすめいたします。



アンコンシャスバイアス研修

©2019 Resourceful K.K. All Rights Reserved.

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

- ・ロータリー人道奉仕功労賞推薦とロータリーフェローシップ候補者募集の案内が届いています。

2 ガバナーエレクト事務所より

- ・会長エレクト研修セミナーの案内が届いています。

日時 4月7日(日) 13時～ 懇親会 17時～

場所 ホテルメトロポリタン盛岡本館 登録料 10,000円 締め切 3月15日

3 気仙沼 RC 今泉直樹次期ガバナー補佐より

- ・次年度ガバナー公式訪問日程・次期G補佐クラブ訪問日程の調整のお願いが届いています。

公式訪問予定日程 9月26日大船渡・陸前高田3クラブ合同(担当当クラブ)

- 4 山田ロータリークラブより 山田の作文第52集
大船渡防犯協会連動会より第26回防犯ミニ作文コンクール入賞作品集が届いています。
- 5 全国RC野球大会事務局より 能登半島義援金募金活動賛同へのお礼が届いています。
- 6 大船渡市を「日本遺産の市(まち)」にする市民運動実行委員会より
実行委員会加入のお願いが届いています。先ほどの理事会で加入を決定しております。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆
米山アワー

★ 新沼福三米山奨学会委員長挨拶の後 「世界へ届け米山の懸け橋」DVD視聴



ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

米山奨学生の採用数は、年間の奨学生採用数は約900人、事業費は約14億4012万円（2022-23年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で23,509人（2023年7月現在）。その出身国は、世界131の国と地域に及びます。

奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

目的：

将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは「(1) 学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2) 異文化理解 (3) コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

学業： 学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽を重ねてその成果をあげる努力をする。

異文化理解： 異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする。

コミュニケーション能力： 人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。

特色：世話クラブとカウンセラー

米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

世話クラブとは：日本には約2,200のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一回以上出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めると共に、ロータリーの奉仕の心を学びます。
世話クラブで行われること：米山奨学生は月に1回例会へ出席 奨学金の受け渡し スピーチその他、親睦活動・奉仕活動への参加など

カウンセラー：奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。

カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。

様々な職業、世代で構成されるロータリークラブでの交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会となります。米山奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。

シンボルマークについて：シンボルマーク重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。



外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う”心”を育てるといふ、事業創設の願いが込められています。

手は、そうした”心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

★ ミーティング報告

- 1班 出席者：報告者 磐井公洋 班長 松田福美 司会 三田地大悟 今野義也 齊藤俊明
新沼達央 古内一二 水野賢一 谷地 保



2月27日18時30分から活魚すごうで開催

議題：会員候補者洗い出し 多くの候補者名が上がった

今後の方針

- ・例会等にオブザーブ参加をしてもらう
 - ・自分が挙げた人は再度声掛け
 - ・いきなり理事会にかけずに会員増強にかけリストの共有をする。リストの共有でいいか悪いかの判断をする
- ・現在の西RCの会員情報があるとどんな人が会員として在籍しているのかわかるため候補者に声をかけるときにいいのではないかと（使っていいのかわからないため確認が必要）

- 2班 出席者：報告者 菅野嘉洋 班長 濱守豊秋 金比呂正 志田宏美 門田崇 新沼福三
橋爪文人 浜田浩誠



2月19日18:00～

会員増強についてということで、各自1名以上、候補者を検討して参加していただきました。個別の名前は差し控えますが、西ロータリークラブに所縁のある方をはじめ、仕事上の交流がある方などの名前が10名弱挙がりました。候補者として名前が挙がった方々は、やはりというか、いいんじゃない、という方々ばかりでしたので、参加者から名前が発表されるたびに盛り上がりました。

ミーティングの参加者にとっても面識のある方が多く、総じてぜひ一度は声掛けをしてみたいと思われる方々でありました。

個人的には西クラブにゆかりのある方々については、ロータリークラブのような組織的な活動に理解のある方も多いと思われるので、積極的に声をかけてみてはどうだろうかと思いました。

また、会員増強に関して出た意見を一つご紹介したいと思います。これは会員候補者にアプローチする手順についての意見なのですが、事前に理事会に諮ってから候補者へアプローチするのが良いのでは、そのほうがスムーズに進むのではないかと、という意見がありました。

現行では入会意思確認を取ってから（入会申込書を書いてもらってから）理事会に諮り、理事会で通ったら、会員に候補者の情報を伝え異議の有無を確認するという流れになっています。この流れだと会員からもし異議が出た場合（異議が出た場合入会見合わせの可能性が大）に入会申込書を出してもらった以降にお断りをする、ということになっています。入会申込書まで出したうえで、入会が見送られるというのは候補者にとってもまたその推薦者にとっても非常に落胆、すごく嫌な思いをすることになってしまいます。それよりは、先に理事会・会員に諮り異議がないことを確認したうえで、候補者へアプローチするのが良いのでは、ということです。これだとも異議が出たとしても本格的なアプローチをする前になりますので、嫌な印象を与えることは少ないと思います。

意見の趣旨としては、せっかく入会に前向きになった人に嫌な思いをさせるのは、非常に申し訳ないという思いです。今後会員増強を進めていくにあたっての参考にしていただければと思います。